

瑞穂小学校で太陽光授業！！



太陽光発電の仕組みを学ぶ児童
＝浜松市中区高丘北の瑞穂小

太陽光発電仕組み学ぶ 中区・瑞穂小 校庭にパネル設置、実験

浜松市中区高丘北の瑞穂小5年生は8日、太陽光発電の仕組みを学ぶ特別授業を校庭で受けた。同区のLPガス販売会社「エネジン」の社員が講師を務め、児童は発電システムの組み立てや発電実験を通じて、環境問題や未来のエネルギーの在り方を考えた。

児童は住宅の屋根をイメージした斜めの架台に、モジュールと呼ばれるパネルを設置した後、配線をつなぎ扇風機やラジオを稼働させた。パネルをシートで覆うと、電気製品が動かなくなるのを確認し、太陽光エネルギーの力を実感した。

化石燃料の枯渇や、温室効果ガスの排出による地球温暖化問題について、社員の解説もあった。

授業は、国連の持続可能な開発目標（SDGs）をテーマにした総合学習の一環。（浜松総局・柿田史雄）

静岡新聞に、瑞穂小学校で行われた太陽光授業の様子が掲載されました！
エネジンは、小学生に出前授業の一環で「太陽光授業」を実施しています。
化石燃料の枯渇や、温室効果ガスの排出など環境の変化がめまぐるしい中、エネルギーも時代と共に進化しています。未来を担う小学生に環境問題に興味を持ち、自ら考えて行動してもらえたらと思います。
今後も地域に住む子ども達と一緒に未来を創造していきます。

令和4年(2022年)11月10日(木)

静岡新聞

